

令和 4 年 度

事業概要



さいたま市食肉衛生検査所

目次

第1章 総説	4
1 食肉衛生検査所の沿革	5
2 組織	5
(1) 市行政組織における位置付け(令和5年3月31日現在)	5
(2) 職員構成(令和5年3月31日現在)	5
3 庁舎の概要	6
(1) 所在地	6
(2) 案内図	6
(3) 所内平面図	6
4 主要検査機器一覧	7
第2章 食肉衛生検査事業の概要	9
1 と畜検査	10
(1) 所管と畜場	10
(2) と畜検査の流れ	10
(3) と畜場開場日数	10
(4) と畜検査頭数	10
(5) 精密検査検体数	11
2 と畜関連検査	11
(1) 家畜伝染病予防対策	11
(2) 搬入枝肉の検査状況	11
(3) その他	12
3 食鳥検査	12
(1) 食鳥処理場施設数(令和5年3月31日現在)	12
(2) 食鳥処理場巡回指導状況	12
(3) 確認状況報告	12
(4) 届出食肉販売業	12
4 と畜場及び食鳥処理場の衛生対策	13
(1) と畜場及び食鳥処理場の衛生検査	13
(2) 牛の特定危険部位(SRM)処理の作業確認の実施	13
(3) 食肉衛生月間	13
5 その他許可・証明等	14
(1) と畜場外への持ち出し許可(令和5年3月31日現在)	14
(2) 証明書の発行	14
6 普及啓発事業	14
(1) 視察、見学及び学生実習等の受入れ状況	14
(2) ホームページによる情報公開	14
第3章 統計	15
1 と畜検査頭数	16

(1) と畜検査頭数の推移	16
(2) 生体産地別と畜検査頭数.....	17
(3) 月別と畜検査頭数.....	18
(4) と畜検査獣畜の種別	19
2 とさつ解体の禁止又は廃棄したものの原因	20
3 病類表	21
(1) 全部廃棄	21
(2) 一部廃棄	22
4 精密検査内訳	24
参 考	25

第 1 章 総説

1 食肉衛生検査所の沿革

平成 13 年 5 月 「さいたま市」発足

平成 13 年 11 月 「さいたま市区の設置等に関する条例」を制定

平成 14 年 4 月 政令指定都市移行に向け、と畜検査業務が埼玉県からさいたま市に移管され、さいたま市保健所食肉衛生検査所を設立

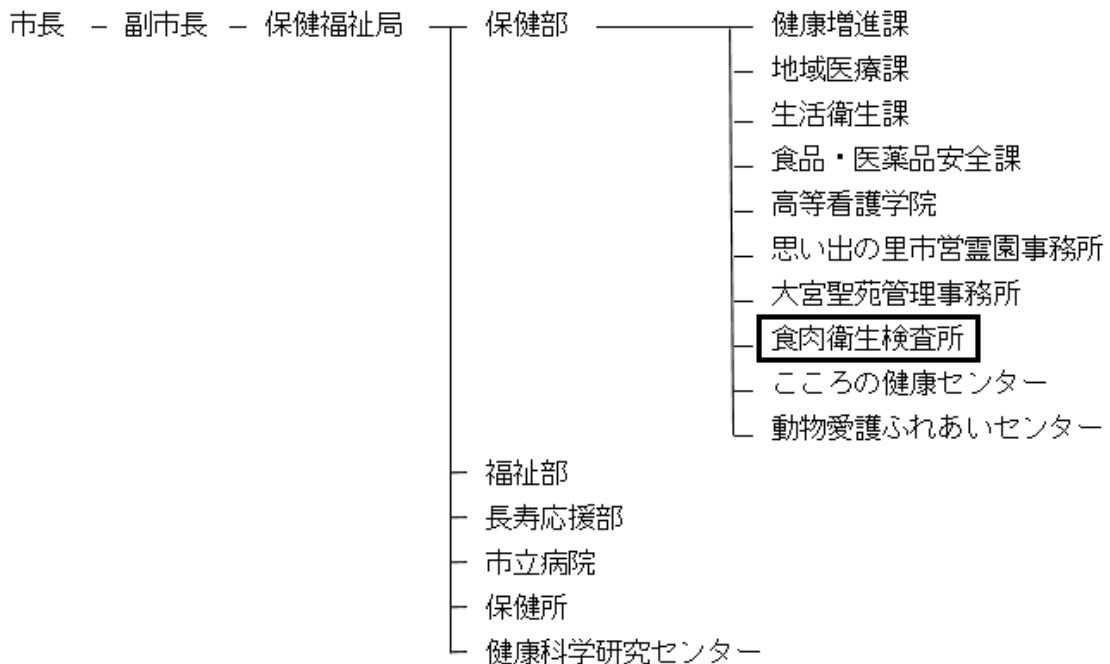
平成 14 年 11 月 庁舎竣工

平成 15 年 4 月 政令指定都市「さいたま市」の発足に伴い、さいたま市保健福祉局保健所食肉衛生検査所となり、その後、保健部食肉衛生検査所となる。

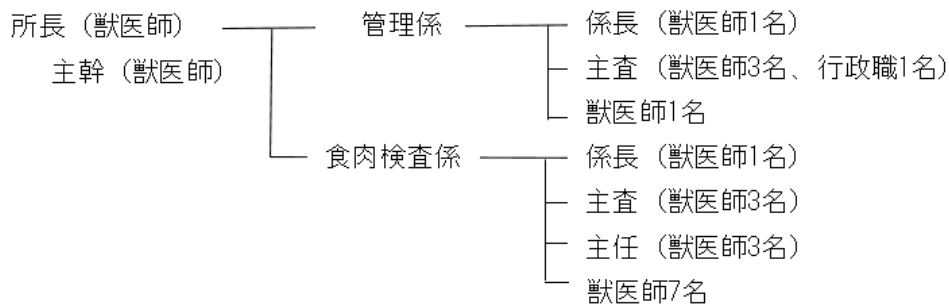
2 組織

(1) 市行政組織における位置付け(令和 5 年 3 月 31 日現在)

(さいたま市機構図抜粋)



(2) 職員構成 (令和 5 年 3 月 31 日現在)



会計年度任用職員 (と畜検査職員) 3 名

3 庁舎の概要

(1) 所在地

名 称 さいたま市食肉衛生検査所

所在地 〒338-0001 さいたま市中央区上落合5丁目14番21号

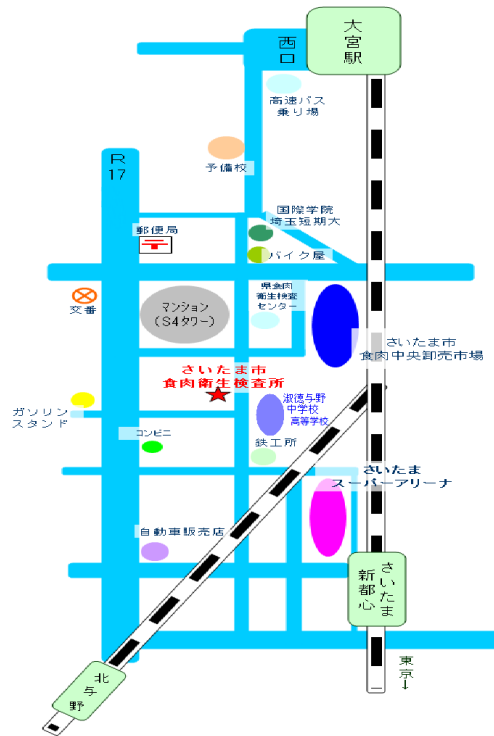
電 話 048-851-4100 F A X 048-855-0577

E-mail shokuniku-eisei-kensa@city.saitama.lg.jp

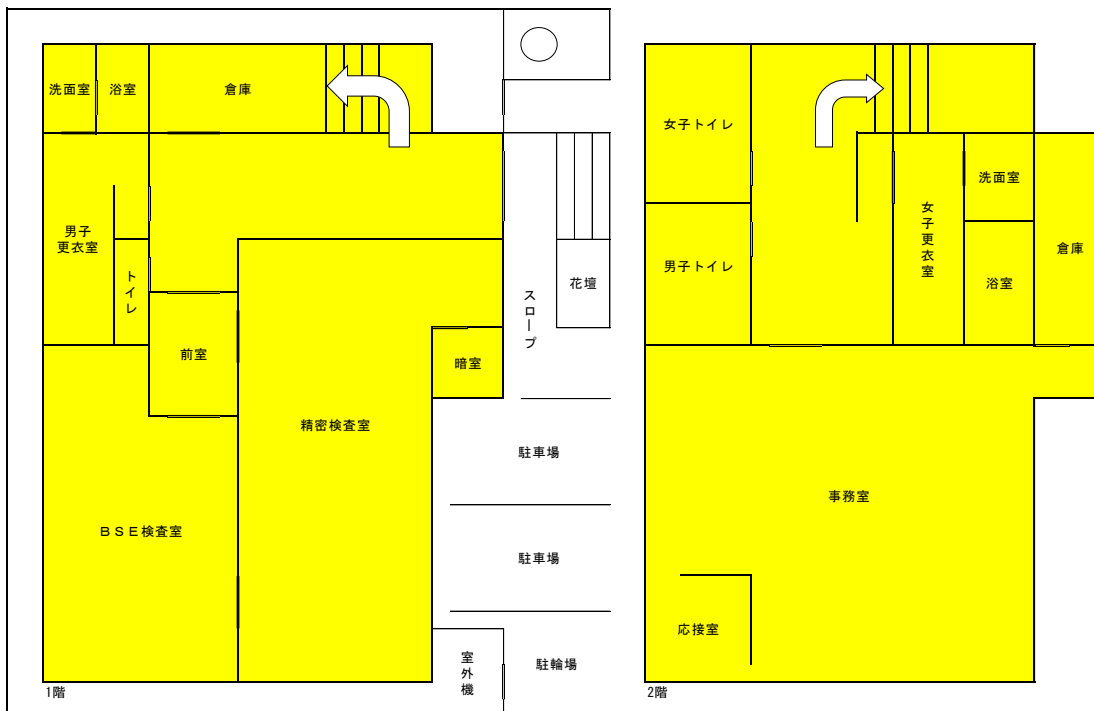
(2) 案内図

● 交通機関(電車の場合)

- ① 大宮駅西口より、線路沿いを徒歩約15分
- ② さいたま新都心駅西口より、アリーナ方面に徒歩約10分
- ③ 北与野駅北口より、国道17号沿いを徒歩約10分



(3) 所内平面図



開地面積：220.00㎡
建物面積：247.88㎡

1階 精密検査室：41.9㎡
BSE検査室：36.8㎡

2階 事務室：75.2㎡

4 主要検査機器一覧

検査機器名	規 格
マイクロプレートリーダー システム	Thermoscientific MULTISKAN FC
電子天秤	A&D FX-500i A&D FX-300i
パソコン	TOSHIBA ノートパソコン PB252JPB182J7X
システム実体顕微鏡	ニコン SMZ1500 型
生物顕微鏡	ニコン ECLIPSE Si LS
蛍光顕微鏡セット	Nikon E600 シリーズ
実体顕微鏡 ファーブルフォト	ニコン 携帯型
煮沸消毒器ステンレス製	都市ガス式 51820
オートクレーブ	トミー精工社 LSX-300 LSX-500 平山製作所 HV-50
純水製造装置一式	メルク Elix 5 UV
安全キャビネット (クラスⅡタイプ A2)	サーモ 1300 NSF 適合
アルミブロック恒温槽	タイテック DTU-2C
小型インキュベーター	アズワン 120-5
ホモジナイザー	ストマッカー400 サーキュレーター
乾熱滅菌セット	アドバンテック
マルチビーズショッカー	安井器械 MB1024BS MB524TMA
卓上小型遠心機	KUBOTA2010
ヘマトクリット遠心機	コクサン H=1200C
薬用冷蔵ショーケース	パナソニック MPR-312DCN-PJ
UV デシケーター	アズワン UVLH-400
フード付きウォーターバス	GK-0086-10
卓上振とう器	東京硝子器械 FNX-220
プレートインキュベーター	アルプ ITD-20E 型
冷凍冷蔵庫	福島工業 ARD-122PM
低温インキュベーター	福島工業 FMU-0522
冷却遠心機	コクサン H-15FR
ローター	クボタ AF2724A/AF5004
マイクロプレートウォッシャー	ハイドロフレックス M8/Ch2
プログラムインキュベーター	アズワン CN-40A
ウォーターバスシェイカー	東京理化器械 NTS-4000B
クールブロックバス	アズワン 120-5

検査機器名	規 格
ヒートブロック	タイテックアルミブロック DTU-2B ドライサーモユニット DTU-2C
保冷库	パナソニック MPR-215F-PJ
超低温フリーザー	日本フリーザー CLN32U 他
迅速乾燥装置	アズワン SPH-10N
製氷機	星崎 FM-120K
アルミブロック	タイラック AL-0836
往復振とう機	アズワン SRR-2
冷凍冷蔵庫	パナソニック MPR-215F-PJ
サーマルサイクラーダイスリアルタイムシステムⅡ	タカラバイオ TP900
パソコン	DELL AI25T6WHBW
ノートパソコン	DELL NI356WHBW
生物顕微鏡	オリンパス CX43
クール・ホットブロックバス	ASCH-201
クール・ホットブロックバス用ブロック	M96-Elisa
卓上冷却遠心機	KUBOTA 3520
アングルロータ	KUBOTA MA-2724
薬用保冷库	パナソニック MPR-414FS-PJ
インキュベーター	パナソニック MIR-254SPJ
マルチミキサー	MIX-101
パーソナルインキュベーター	PIC100
遠心機	Merck XX42CFORT
小型インキュベーター	アズワン IC-150MA
デシケーター	アズワン SCD-2H
マイクロ冷却遠心機	KUBOTA 3700
インキュベーター	MIR-154-PJ
ゲル撮影装置	LED100
サーマルサイクラー	アズワン Portal-C

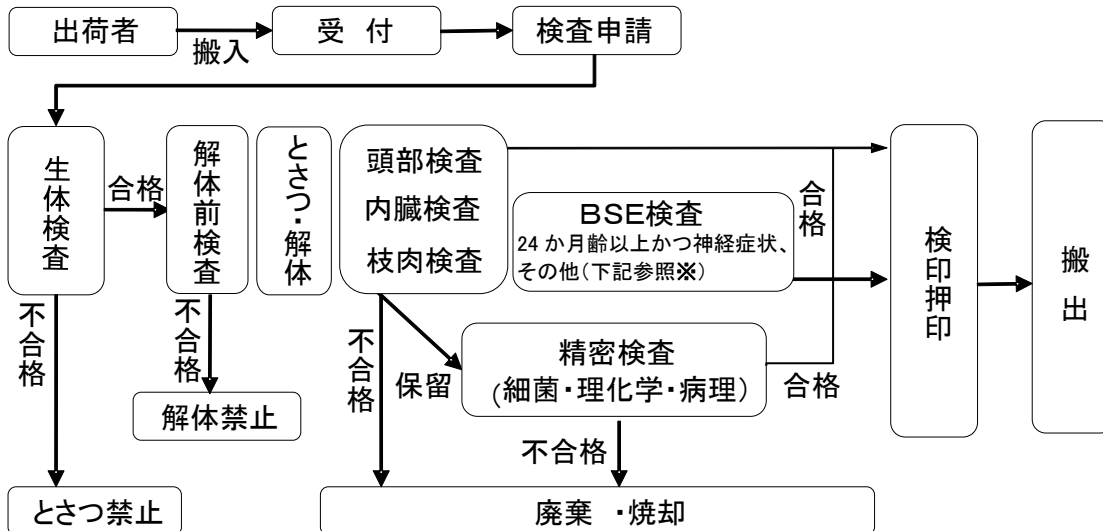
第2章 食肉衛生検査事業の概要

1 と畜検査

(1) 所管と畜場

設置者	と畜場名	所在地
さいたま市	さいたま市と畜場	さいたま市大宮区

(2) と畜検査の流れ



※ 平成 29 年 4 月 1 日より健康牛への BSE 検査が廃止され、24 か月齢以上の牛のうち、生体検査時に BSE 特有の神経症状の疑われる牛、又は全身症状を呈しかつその原因が明らかでない牛に対してのみ、エライザ法による BSE スクリーニング検査を行うことになりました。

スクリーニング検査で陽性になったものは、国の専門機関に検体を送り、確認検査を実施します。確認検査で陽性と判断された場合には、専門家会議による確定診断を行います。

(3) と畜場開場日数

242日

(4) と畜検査頭数

と畜場に搬入される全ての獣畜について、と畜検査を実施しました。

(単位：頭)

	牛	とく	馬	こま	豚	めん羊 山羊	合計
普通畜	1,0894	74	0	0	47,262	0	58,230
病畜	177	3	0	0	8	0	188
合計	11,071	77	0	0	47,270	0	58,418

(5) 精密検査検体数

と畜検査において肉眼で判定が難しい場合には、より詳しい検査を行い総合的に診断しました。

(単位：検体)

	疑疾病名	牛	とく	馬	豚	合計
微生物学	敗血症	84	0	0	458	542
	豚丹毒				578	578
理化学	高度の黄疸	41	0	0	4	45
	尿毒症	26	0	0	1	27
	牛伝染性リンパ腫 (rPCR)	92	0			92
病理学	腫瘍	6(6)	0	0	19(19)	25(25)
	牛伝染性リンパ腫	409	0			409
BSE 検査		0	0			0
合計		658(6)	0	0	1060(19)	1718(25)

※ () 内はさいたま市健康科学研究センター依頼検査の内訳

2 と畜関連検査

(1) 家畜伝染病予防対策

精密検査により、家畜伝染病予防法に基づく疾病を発見した際に家畜保健衛生所に届出を行いました。(確定診断日による集計)

(単位：頭)

	牛	とく	馬	豚	合計
牛伝染性 リンパ腫	87	0			87
豚丹毒				5	5
合計	87	0	0	5	92

(2) 搬入枝肉の検査状況

さいたま市食肉中央卸売市場に枝肉で搬入されるものについて食品衛生法に基づく検査を実施しました。

(単位：頭)

種別	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	合計
搬入枝肉	0	0	0	362	0	362

(3) その他

さいたま市食肉中央卸売市場で販売された卸売物品について、肉質の検査を行いました。

(単位：頭)

種別	牛	とく	馬	豚	合計
実施数	16	0	0	2	18

3 食鳥検査

(1) 食鳥処理場施設数（令和5年3月31日現在）

(単位：施設)

■大規模食鳥処理場（年間処理羽数30万羽超）		0
■認定小規模食鳥処理場 （年間処理羽数30万羽以下）	①とさつから解体まで一貫処理	0
	②食鳥と体を仕入れ、解体処理	1

(2) 食鳥処理場巡回指導状況

市内食鳥処理場を定期的に巡回し、技術指導を行いました。

認定小規模処理場施設（再掲）	1施設
巡回及び監視指導	2件

(3) 確認状況報告

食鳥処理衛生管理者が確認規程に従って実施した確認状況の報告を受け付けました。

(単位：羽)

処理した食鳥	0
基準に適合	0
基準に不適合	0

(4) 届出食肉販売業

脱羽後検査に合格した食鳥と体を譲り渡すための届出を行った食肉販売業者を定期的に巡回し、衛生指導を行いました。

届出食肉販売業	1施設
巡回及び監視指導	1件

4 と畜場及び食鳥処理場の衛生対策

(1) と畜場及び食鳥処理場の衛生検査

施設の衛生管理や衛生的な処理作業の確認を目的とした検査、および食肉中の有害残留物質等についての検査を実施（検査の一部は、さいたま市健康科学研究センターに依頼）し、これらの結果に基づき衛生指導を行いました。

	項目	検体数
細菌検査	・牛、豚の腸管内微生物保有状況調査	腸管出血性大腸菌 0157:75 検体 サルモネラ：75 検体
	・牛肝臓微生物検査	腸管出血性大腸菌 0157:80 検体
	・食鳥処理施設の細菌数検査	一般細菌：5 検体／腸内細菌科菌群：5 検体
	・食肉輸送車ふき取り検査※ ¹	大腸菌群：0 検体
	・牛枝肉および施設ふきとりモニタリング検査	腸管出血性大腸菌 0157:132 検体 (牛枝肉：72 検体、施設：60 検体)
	・牛枝肉の細菌数検査※ ²	一般細菌：60 検体／腸内細菌科菌群：60 検体
理化学検査	・豚枝肉の細菌数検査※ ²	一般細菌：60 検体／腸内細菌科菌群：60 検体
	・動物用医薬品等の適正使用に係る検査 (残留農薬含む)	牛（筋肉、腎臓、肝臓） 60 検体：12,420 項目
	・食肉中残留有害物質のモニタリング検査※ ²	牛 10 検体／豚 10 検体：985 項目

※¹新型コロナウイルス感染症対策のため中止

※²国の通知に基づく検査等（外部検証を含む）

(2) 牛の特定危険部位（SRM）処理の作業確認の実施

SRM の除去・廃棄及び清掃等の作業について、適正性を確認しました。

（単位：回）

作業名	確認回数
脊柱除去作業	91
脊髄除去作業	764
脊髄以外の SRM 除去作業	658

(3) 食肉衛生月間

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、参集型の講習会等はありませんでした。

5 その他許可・証明等

- (1) と畜場外への持ち出し許可（令和5年3月31日現在）

と畜場法第14条第3項第2号の規定に基づき、以下の施設に対して持ち出し許可をしました。

対象部位	許可施設	所在地
皮	橋本産業株式会社	埼玉県熊谷市

- (2) 証明書の発行

関係事業等からの証明願に基づき証明書の発行を行いました。

（単位：件）

証明書の名称	発行数
と畜検査証明書	16

6 普及啓発事業

- (1) 視察、見学及び学生実習等の受入れ状況

国及び他自治体からの視察・見学希望者を受け入れ、主な事業や食肉衛生検査についての説明を行いました。

実施月	団体名	人数
8月	北里大学	1
9月	東京農工大学、日本獣医生命科学大学	2
11月	麻布大学	3

- (2) ホームページによる情報公開

さいたま市のホームページ上で食肉衛生検査所の概要について、情報公開を行い、随時更新しています。（アドレス：<https://www.city.saitama.jp>）

第 3 章 統計

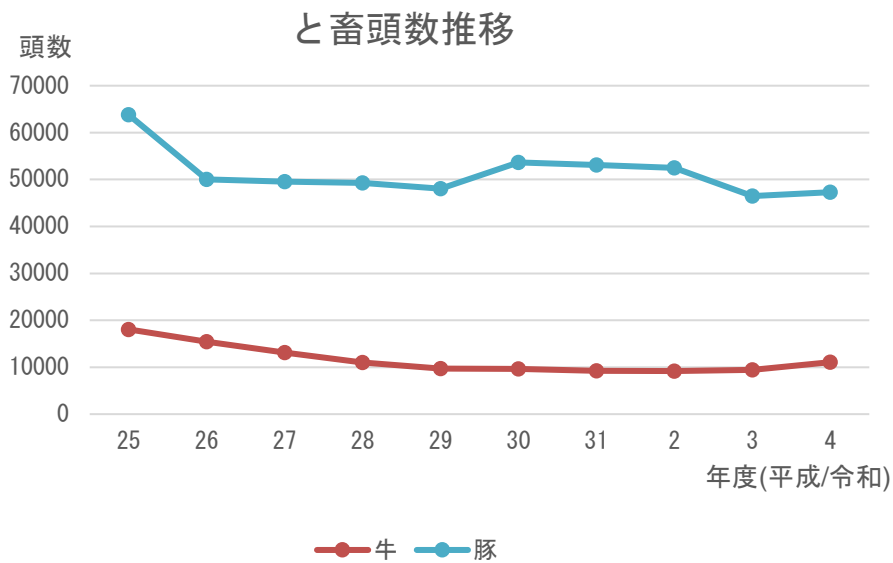
1 と畜検査頭数

(1) と畜検査頭数の推移

牛、豚ともに、と畜頭数は昨年度と比較しやや増加しました。

(単位：頭)

年度(平成/令和)	牛	とく	馬	豚	めん羊・山羊
25	18063	55	0	63790	0
26	15470	99	2	50065	0
27	13126	48	2	49529	0
28	10978	46	3	49255	0
29	9693	41	3	48021	0
30	9624	40	1	53677	0
31	9200	45	4	53115	0
2	9186	36	1	52503	0
3	9409	42	5	46477	0
4	11071	77	0	47270	0



(2) 生体産地別と畜検査頭数

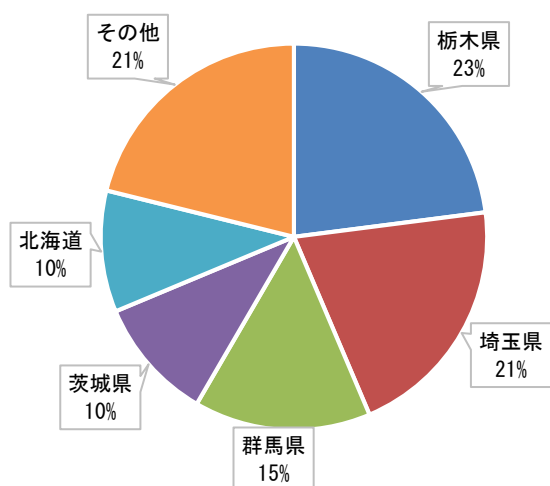
牛については栃木県が約 23%で最も多く、次いで埼玉県、群馬県の順でした。豚については埼玉県が約 48%で最も多く、次いで栃木県は約 35%でした。

牛は関東地方を中心に全国各地からの入荷がありました。豚は埼玉県および栃木県がほとんどを占めました。

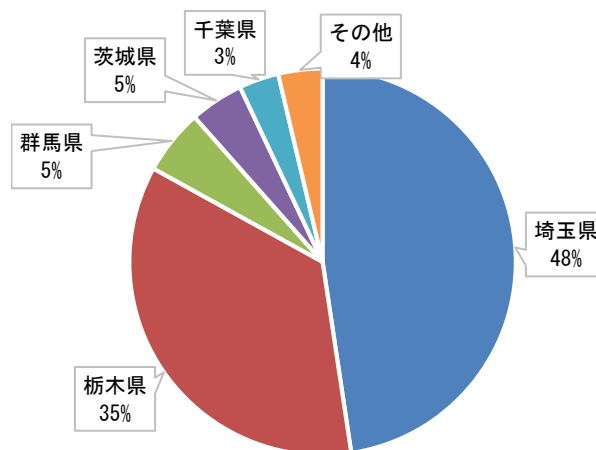
産地	牛		豚		子牛	合計
	頭数	出荷率	頭数	出荷率	頭数	
北海道	1,125	10.16%	0	0.00%	18	1,143
青森県	5	0.05%	0	0.00%	0	5
岩手県	162	1.46%	148	0.31%	1	311
宮城県	10	0.09%	59	0.12%	0	69
秋田県	112	1.01%	49	0.10%	0	161
山形県	89	0.80%	0	0.00%	1	90
福島県	890	8.04%	1,017	2.15%	6	1,913
茨城県	1,142	10.31%	2,127	4.50%	5	3,274
栃木県	2,543	22.97%	16,732	35.40%	19	19,294
群馬県	1,637	14.79%	2,579	5.46%	6	4,222
埼玉県	2,285	20.64%	22,512	47.62%	18	24,815
千葉県	141	1.27%	1,573	3.33%	2	1,716
東京都	236	2.13%	3	0.01%	0	239
神奈川県	59	0.53%	1	0.00%	1	61
新潟県	266	2.40%	82	0.17%	0	348
山梨県	2	0.02%	59	0.12%	0	61
長野県	192	1.73%	0	0.00%	0	192
岐阜県	3	0.03%	0	0.00%	0	3
静岡県	0	0.00%	329	0.70%	0	329
愛知県	2	0.02%	0	0.00%	0	2
島根県	162	1.46%	0	0.00%	0	162
長崎県	5	0.05%	0	0.00%	0	5
熊本県	1	0.01%	0	0.00%	0	1
鹿児島県	1	0.01%	0	0.00%	0	1
沖縄県	2	0.02%	0	0.00%	0	2
計	11,072		47,270		77	58,419

※受付から出荷までに年度をまたぐ場合、と畜検査頭数と合計数の差が生じることがあります。

牛 生体産地別と畜割合



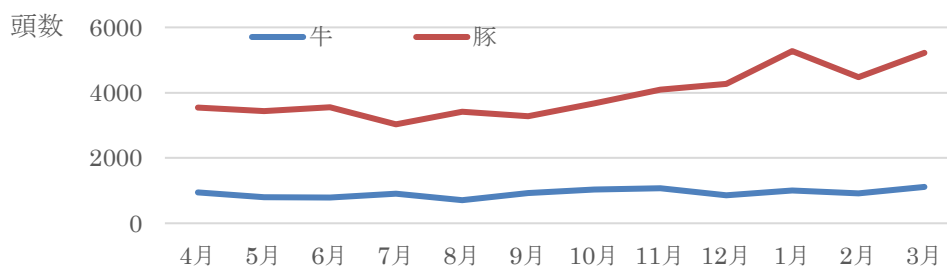
豚 生体産地別と畜割合



(3) 月別と畜検査頭数

(単位：頭)

	牛	豚	とく
4月	947	3541	8
5月	797	3438	1
6月	790	3554	8
7月	907	3031	3
8月	708	3421	3
9月	927	3281	7
10月	1034	3672	10
11月	1069	4094	15
12月	858	4269	1
1月	1001	5274	11
2月	919	4471	6
3月	1114	5224	4
合計	11071	47270	77



(4) と畜検査獣畜の種別

(単位：頭)

牛			豚	
肉用種	未經産	2,539	普通畜(6ヶ月)	44,251
	経産	757	大貫 (母豚、種豚)	3,019
乳用種	未經産	374		
	経産	7,402		

※受付から出荷までに年度をまたぐ場合、と畜検査頭数と合計数の差が生じることがあります。

2 とさつ解体の禁止又は廃棄したもの原因

(単位：頭)

	廃棄実頭数	細菌病						ウイルス・リケッチア病	原虫病	寄生虫病	その他の疾病										計						
		炭疽	豚丹毒	サルモネラ症	結核病	ブルセラ病	破傷風	放線菌症	その他	豚コレラ	その他	トキソプラズマ病	その他	のう虫病	ジストマ病	その他	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸		水腫	腫瘍	中毒諸症	炎症又は炎症産物による汚染	変性又は萎縮	その他
牛	禁止	0																									0
	全部廃棄	305							13						60	7	12	5	38	79			91	0			305
	一部廃棄	9,843					2						2							261			6,670	4,907	2,443		14,285
とく	禁止	0																									0
	全部廃棄	1																1						0			1
	一部廃棄	51																		1			42	14	1		58
馬 (こまを含む)	禁止	0																									0
	全部廃棄	0																									0
	一部廃棄	0																									0
豚	禁止	0																									0
	全部廃棄	133	5												64	38					19		4	3			133
	一部廃棄	46,268						22												22			28,824	1,615	22,953		53,436
めん羊	禁止	0																									0
	全部廃棄	0																									0
	一部廃棄	0																									0
山羊	禁止	0																									0
	全部廃棄	0																									0
	一部廃棄	0																									0

3 病類表

(1) 全部廃棄

ア 概要

検査総頭数に対する全部廃棄の割合は、牛 2.8%、とく 1.3%、豚 0.3%でした。

(単位：頭)

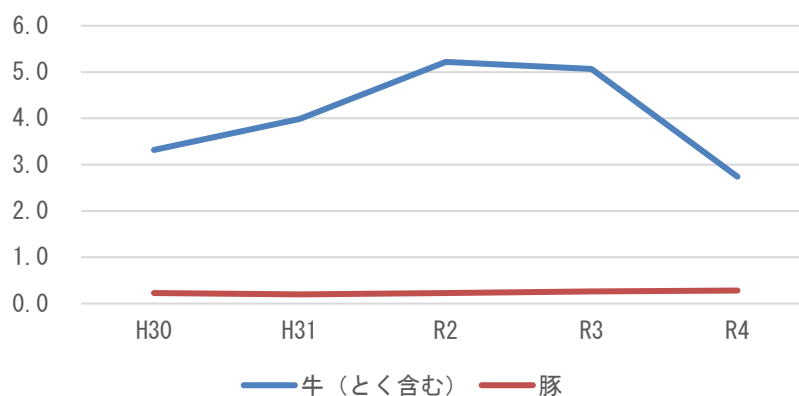
疾病名	牛	とく	豚	計
豚丹毒			5	5
敗血症	7	0	38	45
膿毒症	60	0	64	124
尿毒症	12	0	0	12
高度の黄疸	5	1	0	6
高度の水腫	38	0	0	38
全身性腫瘍	79	0	19	98
全身性筋炎	90	0	4	94
全身性筋変性	0	0	3	3
その他	14	0	0	14
計	305	1	133	439

※「その他」：牛伝染性リンパ腫 13、炎性産物等による汚染 1。

イ 年度別と体全部廃棄状況

(単位：頭)

年度	牛（とく含む）		豚	
	全部廃棄 頭数	廃棄率（%）	全部廃棄 頭数	廃棄率（%）
H30	321	3.32	121	0.225
H31	369	3.99	105	0.198
R2	481	5.22	119	0.227
R3	477	5.07	123	0.265
R4	306	2.74	133	0.281



(2) 一部廃棄

[牛]

疾病名		頭数
寄生虫病	総数	2
	肝蛭症	2
	その他	0
水腫	総数	277
	筋水腫	50
	横隔膜水腫	46
	心水腫	65
	内臓水腫	93
	その他	23
炎症	総数	11599
	心外膜炎	675
	心筋炎	19
	肺炎	487
	肺胸膜炎	8
	肺膿瘍	57
	胸膜炎	152
	横隔膜炎	833
	横隔膜膿瘍	262
	胃炎	486
	胃膿瘍	209
	胃腸炎	220
	胸腹膜炎	19
	腹膜炎	5
	腸炎	230
	肝膿瘍	481
	肝炎	463
	胆管炎	87
	肝包膜炎	1501
	腎炎	1111
	腎膿瘍	27
	筋炎	3558
	筋膿瘍	249
	関節炎	103
	脱臼炎症	32
	骨折炎症	23
	骨膿瘍	49
乳房炎	9	
その他	244	

疾病名		頭数
変性	総数	5131
	GFN	17
	MFN	62
	RFN	57
	おがくず肝	4037
	脂肪肝	433
	心色素変性	143
	肝色素変性	187
	腎色素変性	121
	肝巣状脂肪化	18
	筋変性	5
その他	51	
その他	総数	2714
	肺気腫	320
	異吸肺	64
	血吸肺	7
	富脈班	1715
	嚢胞腎	480
	心出血	24
	肝斑状出血	13
	うっ血肝	24
	その他	67
細菌病	総数	2
	放線菌病	2
	その他	0

牛疾病総数 19725

[とく]

疾病名		頭数
水腫	総数	1
	内臓水腫	1
	その他	0
炎症	総数	67
	肺炎	5
	胸膜炎	1
	横隔膜炎	2
	胃炎	2
	胃腸炎	3
	腸炎	4
	肝炎	13
	肝包膜炎	1
	腎炎	5
	筋炎	20
	筋膿瘍	2
	関節炎	3
	骨折炎症	3
	その他	3

疾病名		頭数
変性	総数	14
	おがくず肝	7
	脂肪肝	6
	筋変性	1
	その他	0
その他	総数	1
	富脈班	1
	その他	0

とく疾病総数 83

[豚]

疾病名		頭数
水腫	総数	22
	ダブリ	0
	筋水腫	9
	臍臓水腫	9
	その他	4
炎症	総数	37236
	心外膜炎	785
	肺炎	20488
	肺胸膜炎	809
	肺膿瘍	258
	胸膜炎	932
	胃炎	69
	胃腸炎	611
	胸腹膜炎	1069
	腹膜炎	11
	腸炎	384
	肝炎(実質性)	156
	肝炎(間質性)	3594
	肝包膜炎	3517
	腎炎	307
	腎膿瘍	4
	筋炎	2936
	筋膿瘍	962
	関節炎	145
	関節膿瘍	7
	脱臼炎症	5
	骨折炎症	73
	骨膿瘍	82
その他	32	

疾病名		頭数
変性	総数	1617
	ダブリ	2
	肝硬変	1
	脂肪肝	1500
	筋変性	36
	肝色素変性	75
その他	総数	23347
	ダブリ	394
	血吸肺	22607
	嚢胞腎	323
	腸気腫	12
	その他	405
	細菌病	総数
ダブリ		0
抗酸菌症		22
その他		0

豚疾病総数 62244

4 精密検査内訳

	項 目	頭数	検体数(項目数)	
			内訳	
微生物検査	・ 監視指導計画に基づく検査	422	487	
	牛枝肉微生物検査	60	60	一般細菌数 60 検体 腸内細菌科菌群数 60 検体
	豚枝肉微生物検査	60	60	一般細菌数 60 検体 腸内細菌科菌群数 60 検体
	腸管内由来微生物保有調査	150	150	
	食鳥と体及び施設等における微生物検査	—	5	一般細菌数 (施設)5 検体 腸内細菌科菌群数 (施設)5 検体
	食肉輸送車荷台拭き取り検査	—	0	
	モニタリング検査 (O157)	72	132	牛枝肉 72 検体 施設 60 検体
	牛肝臓微生物検査	80	80	
	・ 疾病診断	155	1129	牛 9 頭 84 検体 豚 146 頭 1045 検体
	小計	577	1616	
理化学・遺伝子検査	・ 国の通知に基づく取去検査 (モニタリング) (動物用医薬品)	10	20	牛 10 検体 豚 10 検体
	・ と体全部廃棄からのモニタリング (適正使用に係る検査)	15	60	牛 60 検体
	・ 疾病診断 (スポットケム)	72	72	牛 67 頭 67 検体 豚 5 頭 5 検体
	(PCR (牛伝染性リンパ腫))	92	92	牛 87 頭 87 検体
	・ 事故品 (異臭)	1	1	牛 1 頭 豚 0 頭
	・ 調査研究 (と畜場に搬入される牛及び豚の <i>Escherichia albertii</i> 保有状況調査について)	75	75	
	小計	265	320	
病理学検査	・ 疾病診断 牛伝染性リンパ腫 (うち依頼分: 7頭74検体)	100	409	
	上記以外の疾病疑い (健科研へ依頼)	37	302	牛 15 頭 42 検体 豚 22 頭 260 検体
	・ 事故品	18	18	牛 16 頭 豚 2 頭
	小計	155	729	
	合計		2,665	

参 考

<と畜場の概要>

(令和5年3月31日現在)

名 称	さいたま市と畜場
所在地	さいたま市大宮区吉敷町 2-23
電話番号	048-644-2929
営 業 者	市 営(経済局農業政策部)
許 可 年 月 日	昭和 36 年 12 月 15 日
年間開場日数	242 日(令和 4 年度)
とさつ制限頭数	大動物 250 頭 小動物 1,000 頭

1 敷地面積 [16,031m²]

2 建物延べ面積 [7,722m²]

3 主要施設

(1) けい留場(鉄筋コンクリート造 2階建) [1,633m²]

(けい留所収容能力:大動物 160 頭、小動物 800 頭)

<設備> 生体洗浄装置、生体計量器、円形サークル、レストライニングコンベア、
生体追込み装置

(2) と殺解体室 [888m²]

(解体処理能力:大動物 250 頭、小動物:1,000 頭)

<設備> ノッキングペーン、不動化装置、サイトフーラー、ダウフーラー、枝肉自動洗浄装置 2 基、枝肉殺菌装置、インクラインコンベア 4 基、前処理コンベア、スキナー 2 基、背割鋸 ほか

(3) 内臓処理室 [500m²]

<設備> 頭、足、皮、内臓各シュート ほか

(4) 病畜と室 [96m²]

<設備> トロツハ - 1 基、ホスト 1 基、背割電鋸、検査台、冷蔵庫 1 室

(5) 隔離室 [64m²]

(6) 卸売場 [98m²]

<設備> せり機械装置、冷房設備 ほか

(7) 懸肉室(小動物 10℃冷却室・通路を含む) [762m²]

<設備> テンシタル型計量機 4 基 ほか

(8) 枝肉出荷ホ-ム [75m²]

<設備> トロツハ- 6 基、インクラインコンベア 1 基

(9) 冷蔵庫(7 室、卸売業者冷蔵庫含む) [738m²]

(冷凍能力 342,000Kcal : 大動物 350 頭、小動物 500 頭)

<設備>、空冷式ユニット冷凍機 8 基

(10) 電気、機械室(契約電力 1,200KW) [410m²]

<設備> 変電室 2 ヶ所、キュービクル 3 基、中央監視盤 1 面

(11) 管理事務所 [300m²]

(12) 検査員室 [100m²]

(13) 卸売業者事務所(出荷者控室を含む) [566m²]

(14) 食堂(買参人休憩所を含む) [99m²]

(15) 汚水処理施設(活性汚泥処理方式) [1,400t/日]

必要経費一覧

(令和5年3月31日現在)

種 別			と畜場使用料	解体料	と畜検査 手数料	格付 料	冷蔵庫 保管料
牛	未經産		¥4,206	¥4,180	¥700	¥567	¥396
	経産			¥6,380			
	病畜			¥8,470			
馬	普通畜		¥2,776	¥6,380	¥700		¥396
	病畜			¥8,470			
子牛	普通畜		¥2,283	¥1,045	¥300		¥185
	病畜			¥1,705			
子馬	普通畜		¥853	¥1,045	¥300		¥185
	病畜			¥1,705			
豚	普通畜		枝肉 100kg 未満	¥853	¥1,045	¥300	¥121
		枝肉 100kg 以上	¥1,227	¥2,090			
	病畜	枝肉 100kg 未満	¥853	¥1,705			
		枝肉 100kg 以上	¥1,227	¥3,245			
めん羊 山羊	普通畜		¥479	¥1,045	¥300		¥185
	病畜			¥1,265			

令和5年4月1日 さいたま市食肉衛生検査所発行